

# スポーツで未来を創る

経済社会の活性化のために  
スポーツが果たす役割

令和3年4月20日



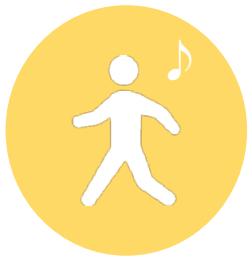
スポーツ庁  
JAPAN SPORTS AGENCY

# スポーツの多様な 価値

スポーツは国民に誇りと喜び、夢と感動、勇気、楽しさを提供できるもの

それだけにとどまらず

経済社会の活性化・課題解決に寄与する多様な**価値**を有するもの



健康増進  
体力向上



経済・地域  
の活性化



共生社会の  
実現



国際貢献  
国際協力



環境保護

...



健康増進  
体力向上



# スポーツによる健康増進・体力向上効果

 **国民医療費**は四半世紀で2倍以上に増大 約21兆円 → **約43兆円**  
(平成2年度) (平成30年度)

生活習慣病等の疾病予防や老化防止など、健康長寿のための身体づくりが必要であり、スポーツ・身体活動の果たす役割の重要性が高まる。  
スポーツの実施によって、心身を健やかに保つことにより、健康寿命の延伸、ひいては、国民医療費の抑制の効果も期待できる。



～参考データ・文献等～

- ▶ 1日10分間歩行(1,000歩)で、1,341円/月の医療費抑制効果が出るという報告あり  
(出典：東北大学大学院医学系研究科 辻教授)
- ▶ 65歳以上の高齢者5,000人を対象に長期に調査した結果、中強度の運動が歩行能力のみならず、老化や疾病予防に効果をもたらすという報告あり  
(出典：東京都健康長寿医療センター研究所老化制御研究チーム青柳幸利副部長・運動科学室長らの群馬県中之条町における調査結果)
- ▶ 心疾患、糖尿病、高血圧等の各種疾病の治療ガイドライン等では運動療法が推奨されている  
(出典：「心臓リハビリテーション必携2014」(日本心臓リハビリテーション学会編)  
「糖尿病診療ガイドライン2016」「糖尿病診療ガイドライン2018-2019」(日本糖尿病学会編)  
「高血圧治療ガイドライン2019」(日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会編))
- ▶ 日本医師会よりスポーツ庁に対して、  
「全世代の国民がライフステージに合わせた運動・  
スポーツ習慣を確立するための施策を推進する」  
などの事項を求めた提言を手交(令和2年6月)



日本医師会の横倉会長(当時)等から  
鈴木前スポーツ庁長官への提言手交の様子

また、新型コロナウイルス感染症の影響による運動不足の結果、特に、中高年齢者については、生活習慣病等の発症や体力・生活機能の低下(骨や筋肉等運動器の衰え、認知症等)をきたす「健康二次被害」を起こすリスクが高まる状況。

意識的に運動・スポーツに取り組むことで、健康の保持・増進だけでなく、メンタルヘルスの維持向上や、自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにもつながる。



# すべての人が気軽にスポーツを実施し、 健康増進・体力向上をはかれるよう以下の取組を実施

スポーツ実施にあたっての様々なハードルを取り除き、全ての国民がスポーツを生活に自然と取り込み、その価値を実感する社会づくり（**Sport in Life**）に向けた取組が必要。



## 普及啓発

情報不足やミスマッチ解消、  
実施に向けた意欲促進に対応

- ✓ 利用したい人と施設・指導者とのマッチングシステムの構築を推進
- ✓ スポーツによる健康増進の効果についての普及や、住民の健康づくりの活動にインセンティブを与える「健康ポイント制度」の地方公共団体への導入の支援
- ✓ ビジネスパーソン、高齢者、女性、障害者等、それぞれの固有の課題に対応した普及・振興施策を推進



## 環境整備

気軽な実施の場や指導者、  
地域の活動の担い手を確保

- ✓ AR/VR等やウェアラブル端末、ライブストリーミング等を活用しながら、「仮想スポーツ」やオンラインでつながるスポーツ活動、健康情報の管理等を行う団体や民間事業者の活動を支援
- ✓ 大学・研究機関とのスポーツ実施による心身の健康増進・社会的効果の先進的な共同研究、研究成果の社会還元
- ✓ 健康産業と連携した多様な資格を持ったスポーツ指導者の育成や、アスリートの知見・能力の活用を促進
- ✓ 学校体育施設等の公共施設、民間事業者が保有するスポーツ施設の相互利用促進



# 子供のうちから運動習慣を身に付けることが、 **Sport in Life** のカギに



子供たちの運動・スポーツに対する意欲は、改善傾向にはあるものの、文部科学省が定めた目標値とは開きがあり、達成度には課題がある。

|                             |                                   |                       |
|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| ◆自主的にスポーツする時間を持ちたいと思う中学生の割合 | (平成28年度) 58.7%<br>⇒ (令和1年度) 65.3% | 目標値は<br>80.0% (令和3年度) |
| ◆スポーツが「嫌い」・「やや嫌い」である中学生の割合  | (平成28年度) 16.4%<br>⇒ (令和1年度) 15.8% | 目標値は<br>8.0% (令和3年度)  |

※目標値は第2期スポーツ基本計画（H29.3 文部科学省）で定めたもの

子供のうちの運動習慣の確立と体力の向上が、生涯にわたって明るく健やかな生活を送るためのカギとなる。

そのためにも、

- 幼児期によく体を動かして遊ぶ経験をした子供はその後も活動的な傾向にあることから、スポーツ医科学の知見も活用して開発した運動遊びプログラムの周知・徹底を図り、幼児期から楽しく多様な動きを培える運動習慣を確立
- 子供の日常的なスポーツ活動の充実のため、地域に根ざして活動するスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等が一体となり、子供の運動習慣の定着に資する取組を推進
- 学校における体育・保健体育の授業において、運動が苦手な児童生徒や、運動に意欲的でない児童生徒への指導の在り方を改善

○ 運動部活動の改革



# 部活動改革の成功を左右するのは**地域スポーツの体制整備** **「民の力」**も最大限活用した好循環の実現へ



- **部活動**は、教科学習とは異なる、集団での活動を通じた人間関係の形成等を学べる**重要な教育的価値**を有するもの
- **一方**、これまで部活動は**教師による献身的な勤務**の下で成り立っており、**長時間勤務の要因**となったり、指導経験のない教員にとって**多大な負担**となっている場合もある。（結果的に、子供たちが望ましい指導を受けられない状況に）
- また、**少子化・地域間格差の影響**により、集団スポーツを実施できない部活動が出てくるなど、**部活動の持続可能性の課題**も抱えている。



上記のような状況を踏まえ、スポーツ庁は「**休日の部活動の段階的な地域移行**」を提唱。その**受け皿**を用意するためにも「**地域スポーツの体制整備**」は急務。また、これをきっかけとして、**官だけでなく「民の力」も最大限活用して、地域スポーツの改革を大きく前に進める突破口**に。



官×民による地域スポーツの環境整備・部活動改革に向けた取組の方向性の一例  
(官民がWin-Winとなるスキーム作りを目指す)



## 学校施設

我が国の体育・スポーツ施設の**約6割**は学校施設

指定管理やPFI等によって**民間の力による運営・改修**を図りながら、地域住民や民間事業者の施設活用を促進し、**地域コミュニティの核**として活用



## 指導者

これまで教員が対応してきたところを担う**地域の指導者の質と量を確保**することが急務

質については、**公認指導者資格取得のための研修の充実**

量については、**退職教員やアスリートのセカンドキャリア等の支援**を検討



## ICT環境

少子化等を踏まえ、部活動を「学校単位」から「地域単位」の取組としていく際に課題の一つとなるのは、**「移動」の時間ロス・負担**

**GIGAスクール・学校の学びのICT活用**推進のなかで、民間事業者の技術・システムも活用しながら、**オンライン指導**等を実施



# 経済・地域 の活性化





# スポーツを通じた経済・地域の活性化の実績



～参考データ・文献等～

- ▶ ラグビーワールドカップ2019™日本大会の経済波及効果：**6,464億円**

(出典：ラグビーワールドカップ2019™日本大会開催後経済効果分析レポート（（公財）ラグビーワールドカップ2019組織委員会））  
※ 日本代表が過去最高となるベスト8の好成績を収めたことも、波及効果を高めた大きな要因の一つ。

- ▶ コロナ禍前、スポーツ目的の訪日外国人旅行者数は**4年で約2倍**：138万人（H27）→**229万人**（R1）  
スポーツツーリズム関連消費額は**4年で約1.5倍**：2,204億円（H27）→**3,584億円**（R1）

(出典：旅行者数 「訪日外国人旅行者数（日本政府観光局）」、「訪日外国人消費動向調査（観光庁）」よりスポーツ庁作成  
消費額 「旅行・観光消費動向調査（観光庁）」よりスポーツ庁作成）

➤ スポーツは、スポーツビジネス界にとどまらず、観光、飲食、建築、伝統文化など  
様々な産業・地域経済にも波及し、大きな経済効果と雇用、地域のにぎわいを生み出す  
コンテンツ。

特に、アスリートのパフォーマンス向上という観点からも、観客のファンエンゲージメント  
を高めるという観点からも、スポーツはデジタル・テクノロジーとの親和性も高い。

また、スポーツを中心に据えて地域のブランド・キラーコンテンツ化することで、  
「健康増進」「コミュニティ再生」「観光振興」「新ビジネス創出」など様々な観点からの  
まちづくり・地域活性化に貢献



ランニングライフをサポートするスマートシューズ。  
動きを解析し、AIを通じてアドバイスや  
音声フィードバックを行う  
( (株) no new folk studio / (株) アシックス )



プロジェクタに投影したゴールネットと動き回るキーパーに  
向かってボールを投げて得点を競う  
ハンドボールコンテンツ。  
( 東商アソシエート (株) / (公財) 日本ハンドボール協会等 )



風光明媚な瀬戸内海を駆け抜ける  
サイクリング。年間30万人超が  
訪れる「サイクリストの聖地」に成長。  
(しまなみ海道サイクリングロード  
／瀬戸内しまなみ海道振興協議会)

閑散とする冬季を盛り上げるため、  
幅広い年齢層が生涯スポーツイベント  
として参加する雪合戦大会を開催。  
世界から参加選手がくるほどの  
国際大会に成長  
(昭和新山国際雪合戦・北海道壮瞥町)



ゴルフ場を観光資源として捉え、国内  
外のゴルファーに対し、県内の食や文  
化を組み合わせたツーリズムを推進。  
2018年には国内発となる「日本ゴルフ  
ツーリズムコンベンション」を開催。  
欧米豪バイヤーから高い評価を得た  
(三重県)

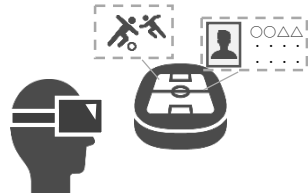


# スポーツの価値をポストコロナ社会の牽引役とするために 以下の取組を実施

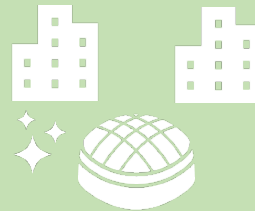


他産業とスポーツの  
連携・融合を促進する  
プラットフォームを  
構築

スタートアップ支援  
優良事例の掘り起こし



自由視点映像や  
リアルタイムの  
戦況分析の配信、  
ビッグデータの活用など  
新たな観戦体験の  
提供を支援



まちづくりや  
地域活性化の核となる  
スタジアム・アリーナの  
民間活力を活用した整備  
多目的利用  
複合的機能化の推進



コロナ禍の経験を踏まえ  
国内外からの  
スポーツツーリズム  
の展開や  
オンライン  
コンテンツの展開



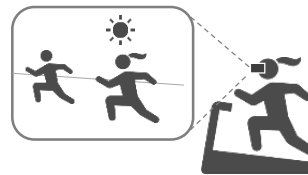
スポーツ医科学の振興と  
その成果・エビデンスを  
トップアスリート  
のみではなく  
社会に還元



伸びしろの大きい  
大学スポーツの振興  
米国では1,000億円規模  
とも言われる市場規模。  
地域のアイコン化



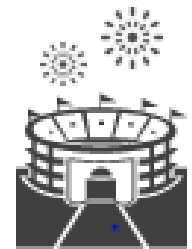
アスリートの  
セカンドキャリア形成  
を支援し、  
選手生活で得た  
知見・能力を  
社会に還元



コロナ禍の在宅等で  
孤独を感じがちな状況に  
オンラインや  
仮想スポーツ等で  
他者・地域とつながり  
を生み出す



社会・経済への波及効果  
を高める日本代表選手の  
活躍に資するよう、  
競技力向上のために  
リモートや先端技術  
を活用

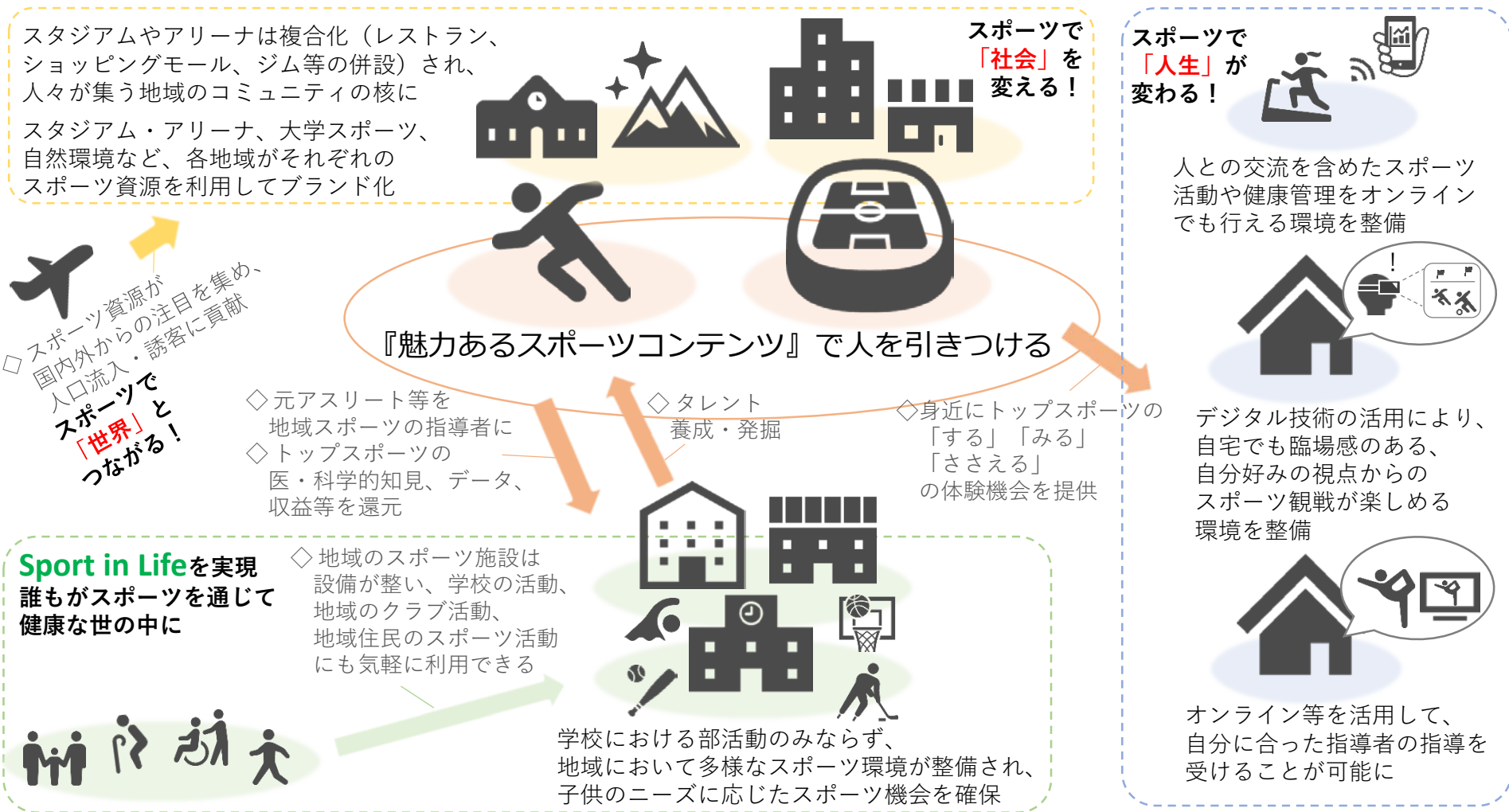


コロナ禍に打ち勝った  
東京2020大会の  
レガシーとして  
大規模国際スポーツ大会  
の積極招致支援

# まとめ

～次期のスポーツ基本計画（第3期）の策定に向けて～

これまでの説明に掲げた取組等を実施することで、  
**スポーツの価値が経済社会の活力に貢献する日本型の社会モデル**の実現を目指す



今年度は、今後のスポーツ行政の方向性を示す  
**次期のスポーツ基本計画（第3期）の策定**のタイミング（令和4年度より適用）

第3期スポーツ基本計画の策定に向け、国内外の様々な社会的な課題や潮流を踏まえ、  
**スポーツがその役割を果たし、社会の発展に寄与していく取組の方向性**について検討予定



# スポーツは、単なる楽しみだけではなく、 経済社会の活力に寄与する多様な価値を生み出すものであり、 多様な民間資金を呼び込む可能性を有する

環境・体制整備のために必要な公的財源を確保することは当然であるが、  
加えて、官と民とで余裕施設の相互利用を図るなどのコスト削減を図りつつ、  
民間資金の獲得等を図ることで収益源の多様化を図るための促進策も重要

民間投資を  
呼び込む  
PFIや指定管理

スポンサー収入  
や寄附の獲得

質の高い  
サービス提供等  
による  
事業収入増加

SIB等の  
民間活力活用

スポーツ振興  
助成の充実

MEGA BIGの売上好調等の理由  
から、令和2年度は3年ぶりに  
売上が1,000億円を突破。

来年は、法改正により導入  
されたバスケットボールや  
単一試合等の新商品が発売  
される予定。

更なる振興助成の充実を  
図っていく。

そのためにも、適切な経営・広報戦略の策定  
等によるスポーツ団体の経営力強化は必須

# ポストSDGsの未来へ

東京オリパラ大会のレガシーを継承し、一層の人口減少・高齢化が予想される我が国において、2030年（国連のSDGsの達成年）及びその先に向けて、スポーツを通じた活力ある国民生活・社会づくりを行う。

⇒ポストSDGsの世界と未来に対して、スポーツを通じて課題を克服をした「日本型モデル」を輸出する

## 『スポーツで未来を創る』

